

9 ブラジルの多文化社会の形成



■北東部（バイーア州） 植民地時代の名残が残る町並み

ブラジル人は大きく
4つのグループに分かれます。

- ①先住民（インディオ）
- ②植民当時のポルトガル系住民
- ③アフリカからの黒人奴隷の子孫（アフリカ系ブラジル人）
- ④19世紀半ばから流入したポルトガル以外のヨーロッパ、中近東、日本を始めアジア諸国からの移民

ヨーロッパ系ブラジル人の多くはポルトガル人の子孫で、ポルトガル人と原住民、黒人奴隷との混血も多数を占めています。

北東部では黒人と混血の住民が多く、南部では19世紀前半に政府から土地を与えられ移住したイタリア、ドイツ等のヨーロッパ系住民が多く住んでいます。これらの地域に日系人はほとんど住んでいません。



■南部（サンタカタリーナ州）ドイツ系の町並み
（写真は10月のビール祭の様子）



■南西部（サンパウロ州）の日本人街

南西部はイタリア系、日系など、植民地時代からのコーヒーブームによって流入した人々、それに続いて、豊かになったサンパウロ州を目指して移住してきたユダヤ系、アラブの人々など、多様な民族が集まり、多文化社会を形成しています。